

産業廃棄物処理計画書

平成27年 5月15日

大分県知事

広瀬 勝貞 殿



提出者

住 所

〒876-0022

大分県佐伯市字鳥越10101番地1

中央生コン株式会社

代表取締役

岡本 金寿

電話番号

0972-29-2111



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中央生コン株式会社
事業場の所在地	大分県佐伯市字鳥越10101番地の1
計画期間	平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	製造業
②事業の規模	500,000,000円
③従業員数	10名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	残コン発生→安定するまで保管→運搬委託者（マニフェスト） (委託内容) 安定型→運搬受託者（マニフェスト交付）→積み込み

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

残コン発生→安定型になるまで保管→運搬受託者へ運搬の依頼（マニフェストの発行）→
→積み込み→処分場へ排出（マニフェストのA・B2）の管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排出量	1,532 t	t
	（これまでに実施した取組） 26年度後期まで及んだ東九州自動車の工事により、計画数量より大幅に残コン（産廃）が発生した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排出量	800 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今年度は東九州道の工事も完全に終了し、長期に及ぶ大型物件の予定もないため、出荷量の減少により、残コン（産廃）も600～800 t程度と見込まれる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画			
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1,532 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,532 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	全処理委託量	800 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	800 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今年度は、生コンクリートの出荷量も大幅に減少が予想され、 残コン（産廃）も600～800 t程度と見込まれます。</p>		